

# INFORMATION

公開イベントのお知らせ

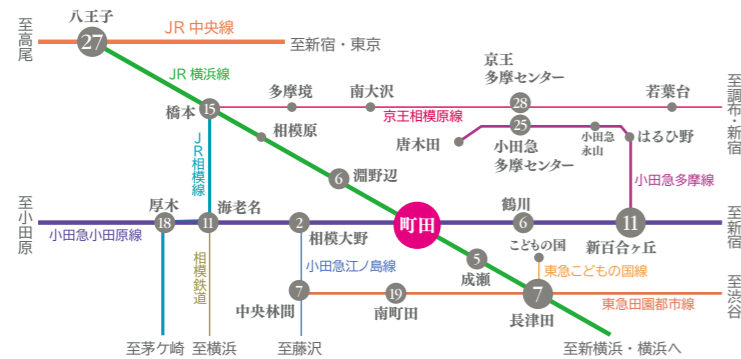
■ 学校見学会(要予約)	令和4年8月17日(水)
■ 第一回学校説明会(要予約)	令和4年10月22日(土)
■ 第二回学校説明会・授業見学会(要予約)	令和4年11月19日(土)
■ 第三回学校説明会・授業見学会(要予約)	令和4年12月11日(日)
■ 第四回学校説明会(個別相談)(要予約)	令和5年1月7日(土)
■ 文化祭	令和4年10月29日(土)~30日(日)
■ 授業体験会(要予約)	令和4年10月1日(土)
■ 授業公開週間	令和5年2月3日(金)~9日(木)
■ 課題研究発表会	令和5年2月3日(金) 情報デザイン系列 令和5年2月6日(月) 機械システム系列 令和5年2月7日(火) 情報テクノロジー系列 令和5年2月9日(木) 電気システム系列

※新型コロナウイルスの状況により、日程等が変更になることがあります。最新の情報はホームページをご確認ください。

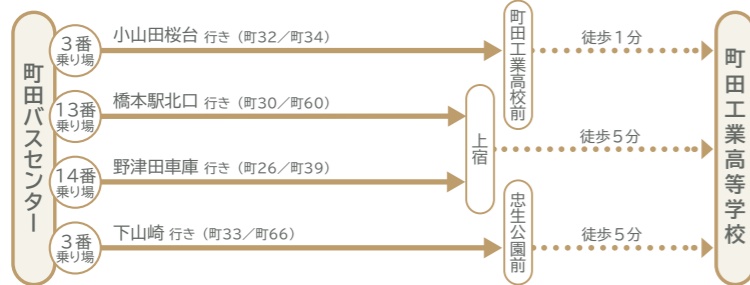
# ACCESS

交通案内

■ 主な駅から町田駅までの乗車時間



■ 町田駅(小田急線・JR横浜線) 町田バスセンターから

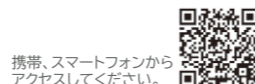


■ 学校周辺地図



東京都立町田工業高等学校 〒194-0035 東京都町田市忠生1-20-2 TEL:042-791-1035 (代表) FAX:042-794-0443  
E-mail:S1000155@section.metro.tokyo.jp ホームページ:http://www.machidakogyo-h.metro.tokyo.jp

※コロナ感染症対策を徹底して撮影しています  
※写真撮影:長島健(情報テクノロジー系列)



リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



# 2023 東京都立町田工業高等学校

MACHIDA TECHNICAL HIGH SCHOOL





## IT人材は町田工業から!



校長  
古川 直浩

スマートホンが世に出現してから瞬間に広がり、誰もが持っていると言っても過言でない時代に入りました。今まで、これほどのスピードでこんな高価なものが広がった経験があったでしょうか。ご存知の通り、スマホは携帯電話ではなく手に入るサイズのパソコンです。通信環境は、5Gになり高速でシームレスな環境が手に入りました。この中にAI（人工知能）が加わり、数年前まではとても不可能だった事ができてしまう状況です。今不可能な事もきっと数年先には実現されているでしょう。

IT技術の変化の速度はだんだんと増えています。このスマホ・AI・5Gの新たな時代により、世界中の人がつながるSNSなどのビッグデータがクラウド上で詳細に分析され、今後、誰も予想しないサービスが展開されます。このような時代（Society5.0）に対応できる技術者を育成することが工業高校に求められてきています。今後、必ず訪れる超効率化社会に果敢にチャレンジする人材を育成していきます。

東京都立町田工業高校は、2年次から「情報デザイン」、「情報テクノロジー（2学級）」、「電気システム」、「機械システム」の4系列5学級の教育課程となっています。また、各系列の強みを生かして目まぐるしく進展する高度な情報化社会を支える即戦力として活躍し、未来を担う技術者を育成します。

さらに、本校では、Tokyo P-TECH事業として、「東京都教育委員会、学校法人片柳学園及び日本アイ・ピー・エム株式会社、シスコシステムズ合同会社、株式会社セールスフォース・ジャパン」が協定を締結しております。そのため、生徒は最新のIT技術の現場見学や技術者からの講義、進路のアドバイス等を実際に体験しています。

中学生の皆さんにぜひ本校にお出でいただき、新しい時代に対応した工業高校を見て欲しいと思っています。そして、あなたの力を日本の「Society5.0」で発揮する道が鮮明にみえてくることでしょう。

※現在想定されている『Society5.0』の姿  
「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）」（内閣府のホームページより）

## 総合情報科

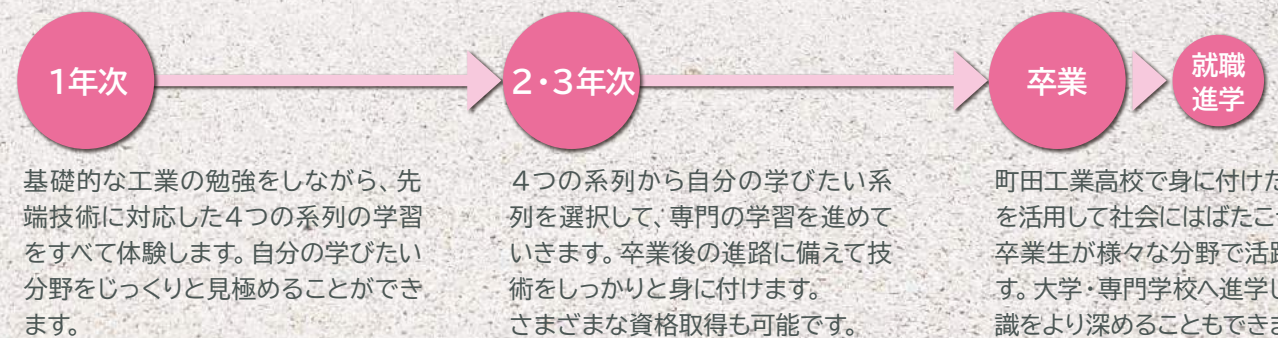
IT（情報技術）社会に対応した専門学科です。「情報」「工業」に関連する様々な分野の知識・技術を学びます。専門分野に分かれた4つの系列からひとつを選び、知識や技術を深めていきます。

情報デザイン系列

電気システム系列

情報テクノロジー系列

機械システム系列



# 町田工業高校は、高→専→大 接続型の工業高校です。

あなたが新しい時代の主役です!  
(Society5.0)

**Tokyo P-TECH** は  
「日本初のIT教育プログラム」です。



## Topic1 「日本工学院八王子専門学校との連携協定」

本校と日本工学院八王子専門学校は連携協定を締結しており、指定校推薦(Tokyo P-TECH枠)での進学が可能となっています。また、日本工学院八王子専門学校(2年制学科)を卒業後は、東京工科大学3年次への編入学の道も開かれています。

自分の進路希望によって高校から大学までさまざまな進路を実現することができます。

## Topic2 「IT企業の社員による継続的なサポート」

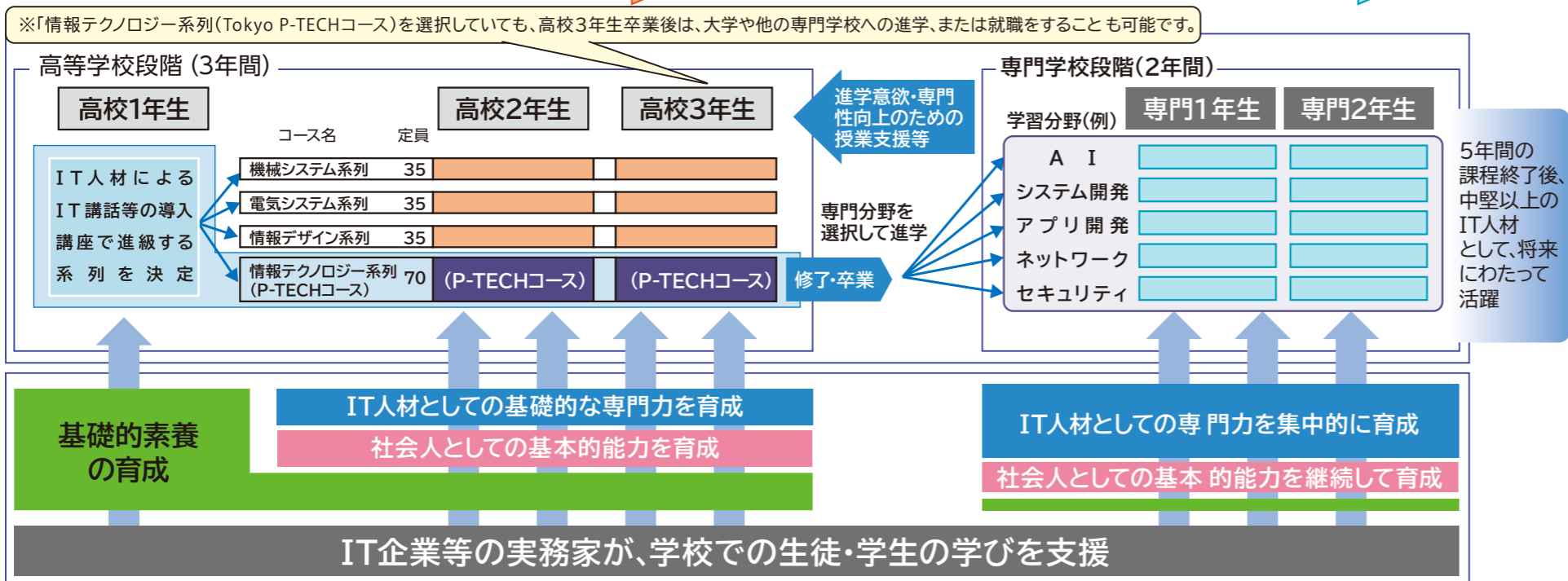
「Tokyo P-TECH」では、米国に本社を置くグローバルIT企業の社員が、進路実現に向けて5年間の長い登り坂を一歩一歩サポートしてくれます。特に、2年生から継続的に行われる「メンタリング」では、IT企業の社員が1対1であなたの高校生活の伴走者として、進路に関するさまざまな悩みや相談などに応えながら、あなたと一緒にゴールを目指します。

## Topic3 「文化・スポーツ等特別推薦の実施」

本校では、プログラミングによる「文化・スポーツ等特別推薦」を実施しています。特別推薦で入学した生徒は、2年生になるときに優先的に「情報テクノロジー系列」を選択できます。

## Topic4 「Global Education Network 20指定校」「海外学校間交流推進校」

本校は、東京都教育委員会から「Global Education Network 20指定校」と「海外学校間交流推進校」に指定され、グローバルに活躍できる人材育成を目指しています。



## Tokyo P-TECHの様子



IT講話 (先端のIT技術を知る)



授業支援 (実践的なIT技術に触れる)



メンタリング (企業人が高校生活を支援)

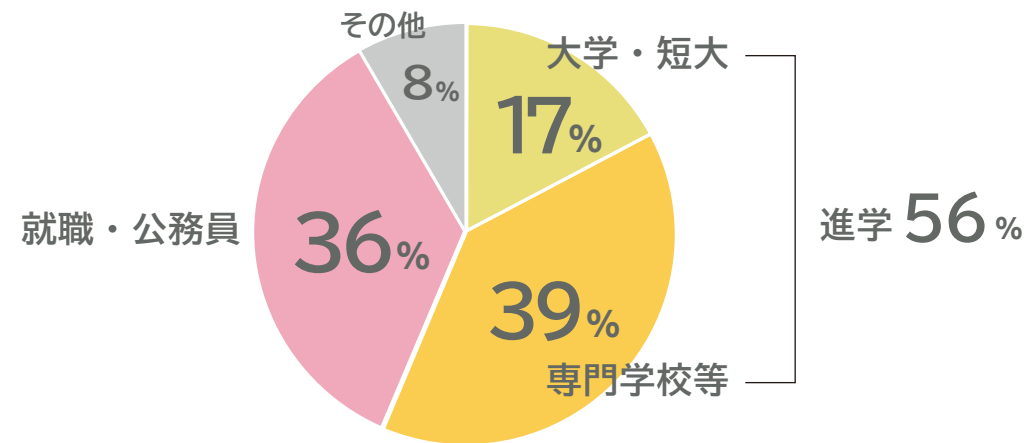


ジョブ・シャドーイング (IT企業の仕事を体験)

# COURSE

資格取得を支援し、進学や就職など希望する進路の実現をサポートします。全教員が生徒一人ひとりにきめ細やかな指導や相談を行っています。

令和3年度卒業生進路状況



系列別進路状況内訳

## 【情報テクノロジー系列】

大学・短大	17%
専門学校等	50%
就職	28%
その他	5%

※旧・アプリケーション系列、旧・情報システム系列のデータを合算しています。

## 【情報デザイン系列】

大学・短大	30%
専門学校等	42%
就職	17%
その他	11%

- 東京工科大学
- 東海大学
- 神奈川工科大学
- 日本工学院
- 八王子専門学校 他
- ティーズ・コム株式会社
- 京王バス株式会社
- 富士通エフエス・
- カスタマーサービス株式会社 他

- 東京工芸大学
- 横浜美術大学
- 和光大学
- 神奈川県立東部総合職業技術校 (かなテクカレッジ東部) 他
- 富士工業株式会社
- 株式会社 ホーチキ
- 株式会社 鶴川整備工業 他

## 【電気システム系列】

大学・短大	10%
専門学校等	14%
就職	66%
その他	10%

- 芝浦工業大学
- 神奈川工科大学
- 大原簿記医療秘書公務員専門学校町田校 他
- 東京地下鉄株式会社
- 東芝テリー株式会社
- 株式会社 日本電力サービス
- 東芝エレベータ株式会社
- 一般財団法人 関東電気保安協会
- 東京都職員 (実習助手) 他

## 【機械システム系列】

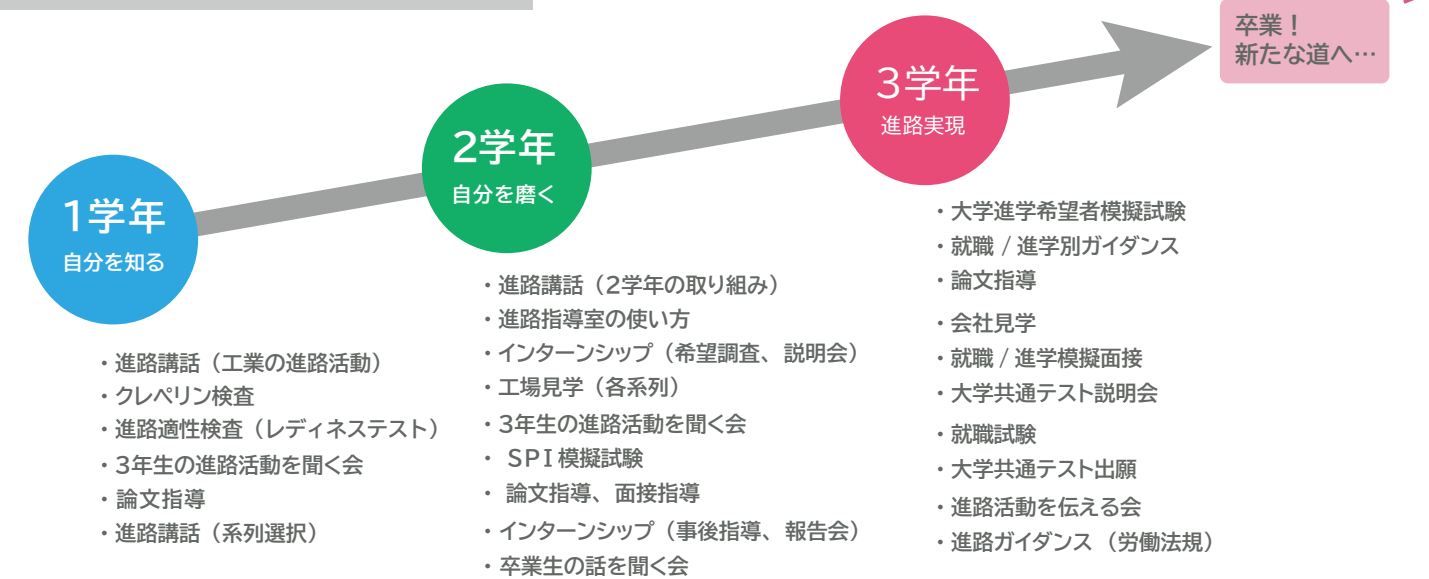
大学・短大	5%
専門学校等	33%
就職	52%
その他	10%

- 神奈川県立産業技術短期大学校
- 東京工科大学自動車大学校
- 東京都立職業能力開発センター 八王子校 他
- 日本コネク工業株式会社
- 株式会社 マキタ
- 千代田電機株式会社
- 東京航空計器株式会社
- JR 東日本メカトロニクス株式会社 他

## 取得目標資格

普通科	情報テクノロジー系列	情報デザイン系列
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語漢字能力検定 (漢検)</li> <li>日本英語検定 (英検)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft Office Specialist (MOS)</li> <li>情報技術検定</li> <li>工事担任者 第二級デジタル通信</li> <li>情報セキュリティマネジメント</li> <li>ITパスポート</li> <li>基本情報技術者試験</li> <li>CCNA</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色彩検定</li> <li>グラフィックデザイン検定</li> <li>アドビ認定アソシエイト (ACA)</li> <li>建築 CAD 検定</li> <li>レタリング技能検定</li> </ul>
総合情報科	電気システム系列	機械システム系列
<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTプロフィシエンシー検定 (P検)</li> <li>パソコン検定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一種電気工事士</li> <li>第二種電気工事士</li> <li>工事担任者 総合通信</li> <li>計算技術検定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎製図検定</li> <li>機械製図検定</li> <li>CAD 利用技術者基礎試験</li> <li>ガス溶接技能講習</li> </ul>

## 3年間の進路指導 (キャリア教育)



## 町田工業高校 GLOBAL!

### 「町エグローバルITエンジニア育成プログラム」

AI、IoT、ビッグデータなど新たな技術の登場によって、現在、第4次産業革命と言われるほど産業界が大きく変化しています。「町エグローバルエンジニア育成プログラム」は、このような技術により新たな社会Society5.0でもグローバルに活躍できるエンジニアの育成を目的に実施しています。

学習内容は、AI、IoTなど新しい技術のことや、IT・ものづくり産業界を取り巻く状況の変化、SDGs、国際文化、国際支援活動など、これからのエンジニアに必要な知識や教養を幅広く身に付けていきます。また、海外スタディツアーや国内の企業見学など、様々な体験活動も豊富に行っています。

### 海外学校間交流推進校

国際感覚の醸成や同世代の生徒間交流による異文化の促進を図るため、海外の学校と交流する「姉妹校交流推進校」に指定されています。本校はベトナムのフンドン (PHUONG DONG) 大学との間で、姉妹校提携を締結しています。



キムリエン高校の生徒との交流



NTTデータベトナムと実施したフィールドワーク

## 進学



令和3年度 電気システム系列卒業  
芝浦工業大学 工学部電気工学科 大野 隆貴さん

私が大学受験を決めた理由は、将来働きたい企業に行くためです。その企業への就職率が高いという理由で、芝浦工業大学を受験しようと決めました。

1年生の3学期頃、コロナの影響で学校が休校になりました。私はその休校期間中から本格的に勉強を始めました。受験に必要な科目は数学、英語、物理の三科目でした。ほぼ自学で勉強していましたが、2年生の冬に予備校に通い始め、成績がかなり上がりました。3年生の秋の模試では合格判定がDでしたが、最後まであきらめずに勉強を続けて、合格することができました。

高校の3年間は、人生の方向を決める大事な期間だと思います。ゲームやバイトはいつでもできるけれど、大学受験のために毎日勉強するのは今しかできません。何か大きな目標を立てて、長期にわたり努力することは、高校生活の大切な思い出になると思います。



令和3年度 機械システム系列卒業  
神奈川県立産業技術短期大学校 箕田 拓未さん

私は、神奈川県立産業技術短期大学校を受験しました。私はもともと進学でなく就職を希望していましたが、就職試験に失敗し、先生に進路変更を相談しました。紹介してもらった大学に興味を持ち、大学見学をしたのちに受験を決めました。

私自身、出席日数は大丈夫でしたが、勉強はあまり得意ではありませんでした。大学の試験科目は数学でした。放課後に数学の先生に過去問題の解き方を教わり、勉強をしました。その甲斐あって、合格することができました。



令和3年度 情報デザイン系列卒業  
和光大学 表現学部芸術学科 萩野 花姫さん

私は指定校推薦で和光大学の表現学部芸術学科に合格しました。この進路を選んだ理由は、町田工業高校の情報デザイン系列で学んだ知識を深めつつ、芸術的な分野にも挑戦してみたかったからです。

私は指定校推薦をとるために、1年生の頃から勉強を頑張ってきました。また、提出物の期限は必ず守ること、授業は休まずに出席することを心がけました。試験が近づくと、色々な先生に面接練習をお願いしました。デザインや芸術関連の質問に強くなれるように、専門教科の先生方にたくさん練習していただきました。

振り返ってみると、1年生の頃からの積み重ねが大切だと感じました。個人的には2年生からでも遅くはないと思っているので、「自分には無理だ」と決めつけず、挑戦してみるといいかもしれません。高校生活の充実、そして受験の成功を応援しています！



令和3年度 情報システム系列卒業  
東海大学 工学部応用化学科 折原 潤さん

進路活動では、家族や先生方、自分自身とよく相談することが大切だと感じました。周りの人がもつ自分にはないアイデアや経験を参考にするのも、自分の進路を決める材料の一つになると思いました。

志望理由書を書く時や、面接練習でも、自分だけで考えるのではなく周りの人に相談することが大切だと思います。志望理由書は国語の先生に、面接練習は多くの先生に指導していただきました。自分のやりたいことをしっかり決め、周りの人を納得させる説明ができるようにしておくことが大事だと思います。

少しでも心配なことや不安があったら、周りの人に相談して、助けてもらうのがいいと思います。中学生のみなさんにも、自分の「やりたい」を納得した形で実現してほしいです。

(※旧・情報システム系列は、現在の『情報テクノロジー系列』になります。)

## 就職

令和3年度 機械システム系列卒業  
JR 東日本メカトロニクス株式会社 鈴木 千尋さん

私が就職先の会社として JR 東日本メカトロニクスを選んだ理由は二つあります。一つ目は、自分が得意としている「組立て作業」のスキルを活かしたいと思ったからです。二つ目は、自分の技術で会社に貢献したいと思ったからです。

就職活動が本格的に始まったときは、正直自分の考えがまとまっておらず、大変でした。時間をかけて先生方と相談できたことで、自分に合っていると思う会社を見つけることができました。

令和3年度 情報デザイン系列卒業  
富士工業株式会社 江成 七海さん

私はこの度、富士工業株式会社に内定を頂くことができました。先生方には、相談や面接練習のご指導をいただきました。

高校1、2年生時の私は、特にやりたいことがなく、進路は就職するというだけしか考えていませんでした。3年生になり本格的に進路活動が始まると、就職先を決めるのにも時間もかかり、苦勞していました。そんな時、先生方が相談に乗ってくださったり、おすすめの会社を教えてくださいと、色々な手助けをいただ

令和3年度 電気システム系列卒業  
公務員（実習助手） 関口 大地さん

私が進路先をしっかりと決めたのは二年の冬頃でした。それまで自分のやりたい仕事を考えることができずにいました。私は高校の「実習」の授業が好きで、毎回まじめに授業を受けていたのですが、そんな時に興味を持った仕事が「実習助手」という職業でした。実際に学校で働いている実習助手の先生に助けてもらいながら、試験勉強や面接練習を何度も行い、試験に合格することができました。

会社見学では、第一印象が重要だと聞いていたので緊張しました。試験に向けての面接や SPI「一般常識」などの練習は時間が限られており大変でしたが、今までの練習が役に立つときが来ることを信じて頑張りました。

試験終了後は、正直に言って合格の自信がありませんでした。合格の知らせが来たときはとても嬉しかったです。

いて希望の会社を決めることができました。

試験は、面接、適性検査、作文、実技試験の四つがありました。私は面接練習と作文練習を中心に対策して行きました。作文のテーマが事前に分かっていたため、何度も先生に添削してもらい、完成させて試験に臨みました。合格したときはとても嬉しかったです。

今、この文章を読んでいる中学生のみなさんは、自分の進路先をはっきり決めていますか？決めていない人がほとんどだと思います。進路先を決めるきっかけは些細なことでもいいと思います。例えば自分の好きなこと、周りの何かに興味を持ったとき。その気持ちを「仕事として関わっていきたい」という気持ちに変えていければいいと思います。そこまで来たら、あとは自分がどこまで努力できるかです。みなさんのことを応援しています。がんばってください！



# 情報テクノロジー系列



Society5.0時代のIT技術者として必要なAIやデータサイエンス、ネットワーク、セキュリティに関する最先端のITスキルを身に付けます。

## ■主な専門科目

### 実習

情報テクノロジーの主な専門分野に関する技術を実際の作業を通して総合的に理解し、技術革新に主体的に対応できる基本的な能力と態度を身に付けます。

### 情報ビジネス

情報を活用したビジネスに関する基礎的な知識と日常の経済活動の結びつき、実際に活用できる能力と態度を学びます。

### 実習

情報テクノロジーの主な専門分野に関する高度な技術を実際の作業を通して総合的に理解し、技術革新に主体的に対応できる応用的な能力と態度を身に付けます。

### 情報セキュリティ

情報セキュリティに関する基礎的な知識と取扱いに習熟し、実際に活用できる技能と態度を学びます。

### 情報テクノロジー

電気・電子に関することや情報の基礎理論など、先端IT技術を探究するために必要となる工学の基礎を総合的に学びます。

### ネットワーク技術

TCP/IPプロトコルなどネットワークに関する基礎的な知識と取扱いに習熟し、実際に活用できる技能と態度を学びます。

### 情報テクノロジー

データサイエンスやAI、クラウド技術など、これからのIT技術者に必要なITに関する専門的な知識と最新の技術を学びます。

### ネットワーク実践

ネットワークに関する実践的な知識と技術に習熟し、実際に活用できる高度な技能と態度を学びます。

### コンピュータシステム技術

コンピュータシステム技術やネットワーク技術、データベース技術、マルチメディア技術などのコンピュータシステム技術に関する知識と技術を学びます。

### プログラミング演習

C言語を用いたプログラミングの基礎や、コーディングとデバッグ、アルゴリズム設計、基本的なプログラムの作成技法を学びます。

### ネットワーク基礎

ネットワークに関する知識と技術を基礎から学びます。情報テクノロジー系列以外の生徒が対象になります。

### 課題研究

情報テクノロジーに関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通じて、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、課題解決能力や主体的、創造的な学習態度を身に付けます。

### コンピュータデバイス

SDGsや環境問題などの社会課題を、マイコンやセンサなどコンピュータデバイスを活用して解決策を考える学習を通して、国際感覚と実践的なITスキルを身に付けます。

### 情報関連技術

ビジネスで必要となるオフィスソフト (Word、Excel、PowerPoint、Accessなど) の活用技術を中心に情報関連の技術を学びます。

### プログラミング応用演習

機械学習、ディープラーニングやIoTに適したPythonによる実践的なプログラミングを学びます。

## ■卒業後の進路

高校3年間で身に付けた最先端のITスキルを生かして、指定校推薦やAO入試で大学や専門学校へ進学します。「Tokyo P-TECH」連携校である日本工学院八王子専門学校に進学し、さらに専門的なIT技術について学ぶこともできます。

また、IT人材不足が社会問題となっている中、情報テクノロジー系列で身に付けた専門性を生かした就職も期待されています。



## ■教員からのメッセージ

「Tokyo P-TECH」を中心的に実施する系列です。世界的なIT企業や専門学校と連携して、次世代のIT人材として必要な知識・技術を実践的に身に付けます。本校が日本初となるこの取組は、すでに多くのマスコミや企業からも注目されています。ぜひ、一緒に学習してみませんか？



## 情報デザイン系列



ポスター、イラスト、コンピュータグラフィックス、立体造形などのデザインについて学びます。

## ■主な専門科目

## 2年次

## 実習

デザインの主な専門分野に関する技術を実際の作業を通して、総合的に理解し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を身に付けます。

## 製図

## 製図

製図の日本産業規格及びデザイン製図に関する知識と技術について学びます。

## デザイン技術

デザインの基礎をはじめ、ビジュアルデザイン、プロダクトデザインなどについて学びます。検定の勉強もします。

## デザイン理論

全般的なデザインと色彩調和の理論や基本的な色彩心理や色彩構成、マーケティングやコンピュータデザイン等の代表的な企画について学びます。

2年次

## 応用デザイン

構成技術や構図のバランス、色彩構成の技法、工業製品を元にした平面構成の演習を行います。

## 3年次

## 実習

デザインの主な専門分野に関する技術を実際の作業を通して、総合的に理解し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を身に付けます。

## デザイン技術

2年次に学んだデザイン技術を基礎に環境構成デザイン、デザイン企画などの知識を学びます。

## デザイン史

造形とデザインの歴史を理解し、実際に創造し鑑賞する能力と態度を学びます。

## 応用デザイン

視覚的な表現伝達の活用、商用デザインに関する技能やプロダクトデザインの概要、工業製品のデザインに関する技法、手仕事における造形表現の手法を学びます。

3年次

## デザイン演習

メディアや構成の基礎について学びます。スタジオのブルーバックで撮影し、パソコンで画像や動画の編集を行います。

## 課題研究

デザインに関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通じて、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を学びます。

## ■卒業後の進路

情報デザイン系列では、進学が8割、就職が2割と進学が多くなっています。進学の中でも、大学が4割、専門学校が6割です。大学では、美術系、デザイン系、建築系の他、情報系、各種文系に進学、専門学校では、デザイン系をはじめCG、情報、美容といった幅広い分野に進学しています。大学進学では、授業などで制作した作品を生かした入試にも取り組んでいます。就職では、事務系、生産系、販売系など、女子生徒も多いことから、様々な職業に就いています。



## ■教員からのメッセージ

デザインという分野は非常に広く、世の中のすべての物にデザインが関わっていると言ってもいいくらいです。本校の情報デザイン系列では、デザインの代表的な分野であるプロダクトデザイン、ビジュアルデザイン、環境構成デザインの基礎、色彩の理論等を勉強します。実習においては、それぞれの分野の基礎から応用まで実際の作業を通して技術を習得していきます。情報デザイン系列としては、本校で学んだデザインの基礎を基に上級学校への進学を目標としています。



# 電気システム系列



電気・電力に関する知識と技術を学び、電力システムを活用できる能力を身に付けます。

## ■主な専門科目

### 2年次

**製図**  
製図の日本産業規格及び電気製図に関する知識と技術について学びます。

### 電気回路

直流回路や磁気と静電気、交流回路などの電気に関する基礎的な知識と技術について学びます。

### 電力技術

水力・火力・原子力などの発電方式、電力を届ける送電・配電、変電、屋内配線、電気関係法規を学びます。

### 電子技術

電子技術の概要や、半導体素子、増幅回路であるアナログ回路、論理回路に使われるデジタル回路などを学びます。

### 3年次

**実習**  
電気システムの主な専門分野に関する技術を実際の作業を通して、総合的に理解し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を身に付けます。

### 電子技術

電子技術を利用した回路、有線・無線通信システム、音響・映像機器、電子計測などの基礎を学びます。

### 電力技術

照明と光源、電熱、工業に通じる電気化学、輸送を担う電気鉄道、家庭用電気機器、自動制御方法について学びます。

### 課題研究

電気システムに関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通じて、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を学びます。

## ■卒業後の進路

電気工事、電力設備の保守、ビルメンテナンスなどの業種へ技能職として就職を目標としています。



## ■教員からのメッセージ

普段から意識せずに使っている電気というエネルギー。この目に見えない電気の「使う」「送る」「作る」システムについて学びます。どこか一箇所でも欠けると流れない厄介者をコントロールする技術は、「実習」という経験で身に付け、その成果は「第二種電気工事士」という資格取得に現れます。





# 機械システム系列



機械・電気・電子などの技術を少しずつですが、体験しながら学ぶことができます。

## ■主な専門科目

### 2年次

#### 実習

自分の手や足を動かし、実際に機械や工具・測定機器を使って作業を行い、機械技術に関する科目の総合的な学習を通して、工業技術者として望ましい態度と習慣・技術を身に付けます。

#### 機械工作

機械は多くの部品から成り立っており、そのしくみや機械を作るさまざまな技術を学び、また、機械に使用されている材料の基本的な材質を学びます。

#### 機械設計

機械に働く力や運動を理解し、使用されている材質の強さなど機械を設計するために必要な、基本的な知識と技術を学びます。

#### 製図

設計した人間が製作を依頼する時、言葉や文章で伝えるだけではなく図面を用いると分かりやすく伝えられます。図面を正しく作成し、読む技術を学びます。

### 3年次

#### 生産技術

ものづくりの生産工程に必要な電気や電子・メカトロニクス・機械材料技術・生産管理など、機械全般以外の基本を学びます。

#### 課題研究

課題を発見し、その課題の解決に向けて学習をすることにより専門的な技術・知識を深め、総合的な技術力の向上を目指し問題解決力や自発的な学習態度を身に付けます。

#### 実習

機械・電気・電子・制御の分野に関する技術を実際の作業を通して学びます。また、技術の進歩に主体的に対応できる知識・能力・態度を身に付けます。

#### 製図

平面の図面を作成するにあたり製図に関する規格を学びます。また、図面を効率よく作成するためCAD(コンピュータ援用設計)システムを学習します。

#### 機械設計

機械力学を通し、機械を構成する各部品、ボルト・ナット・ねじなどの強度を学習します。また、歯車・ベルト・チェーンにおける力の伝達についても学びます。

#### 機械工作

機械に関する各種の工作方法の特徴から材料を切削する条件や切削理論、工作機械の構造を学び、機械加工への理解をさらに深めます。

#### コンピュータ制御

簡単なモータ制御や、明るさに応じて自分で判断しながら動くロボットのプログラミングを通し、C言語を用いたマイクロコンピュータによる制御方法を学びます。

#### ロボット製作

簡単なロボットの製作を通し、プログラミングによる制御を学びます。

## ■卒業後の進路

就職活動を中心に進路を考えている生徒が8割、2割が専門学校や大学進学を目指しています。希望の進路を実現するためには、高校での3年間、授業・部活動・学校行事等に積極的に参加することが大切です。企業が望む高校生は健康であり、マナーを守り、一般常識がある積極的な生徒です。機械システム系列では、このような生徒を育てます。



## ■教員からのメッセージ

私たちの身の回りには、金属で作られた工業製品がたくさんあります。例えば自動車がその一つです。自動車は何万点からの部品で構成されており、その基本となるのが機械工学の勉強です。

機械システム系列では、材料の性質や強度計算をはじめ、製図やCAD、汎用機械を使ったものづくりの基礎から、パソコンを使った簡単なプログラムなど、アナログからデジタルまで幅広く教えます。

私たち教員は、学習の基礎・基本を重視すると共に人間性を育て、世の中に貢献できる生徒を社会に送り込むことを目標にしています。機械のことに興味ある中学生、ぜひ一緒に勉強しましょう！



学校行事

# SCHOOL LIFE

かけがえのない友人との出会い。忘れられない思い出。  
町工には、3年間の高校生活を彩るさまざまなイベントが目白押しです。



<h2>4</h2> <p>April</p>	<h2>5</h2> <p>May</p>	<h2>6</h2> <p>June</p>	<h2>7</h2> <p>July</p>	<h2>8</h2> <p>August</p>	<h2>9</h2> <p>September</p>	<h2>10</h2> <p>October</p>	<h2>11</h2> <p>November</p>	<h2>12</h2> <p>December</p>	<h2>1</h2> <p>January</p>	<h2>2</h2> <p>February</p>	<h2>3</h2> <p>March</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 入学式</li> <li>■ 1学期始業式</li> <li>■ 1学年交通安全教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1・2学年遠足</li> <li>■ 芸術鑑賞教室</li> <li>■ 3学年修学旅行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体育祭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交通安全教室</li> <li>■ セーフティ教室</li> <li>■ 保健講話</li> <li>■ ベトナムスタディツアー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 夏休み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2学期始業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 文化祭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2学年工場見学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交通安全教室</li> <li>■ 冬休み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3学期始業式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マラソン大会</li> <li>■ 2学年インターンシップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 卒業式</li> <li>■ 春休み</li> </ul>

※行事予定は例年のモデルケースです。



### 生徒会紹介

体育祭・文化祭などの学校行事や、学習・部活動など学校生活をよりよいものにするため、生徒会役員を中心に生徒の声を取り入れながら活動しています。

制服  
実習服

# SCHOOL UNIFORM

大事な3年間の一日一日の生活を彩る制服の紹介です。

Winter  
Style



紺色のブレザーとグレーを基調としたチェックのストラック  
スとスカートが、シックで上品な印象を与えます。

Summer  
Style



男女とも白いシャツにネクタイとリボンで爽やかなイメ  
ージの夏服です。女子のベストの着用は自由です。

Variation



女子は、スカートとストラックスを自由に選択できます。

実習服

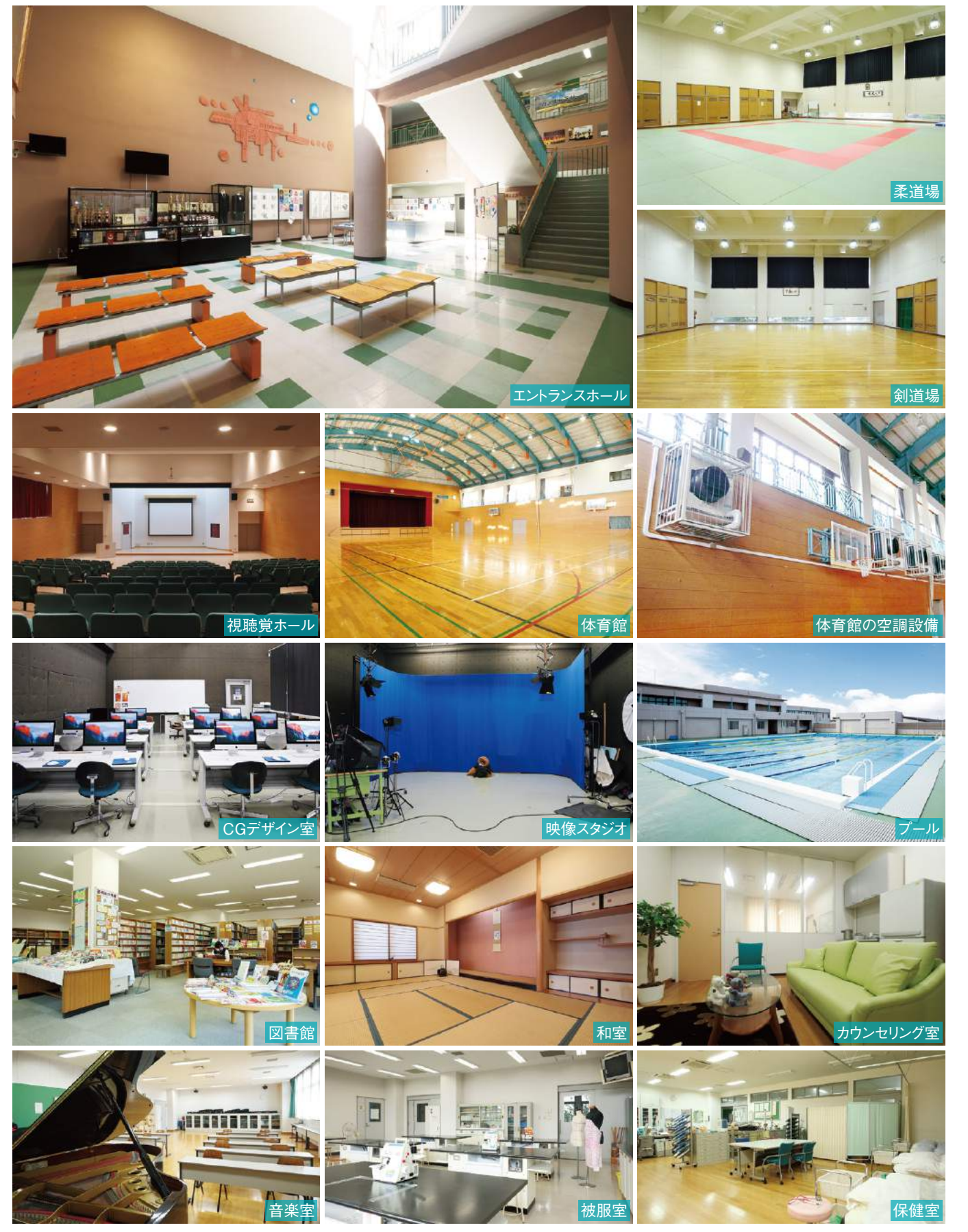


実技を伴う際に着用するユニフォームです。

施設  
設備

# FACILITIES

『モノづくりとコトづくり そして人づくり』を实践する抜群の施設環境。  
全教室には冷暖房を完備しており、明るく清潔な環境で学習意欲を高めます。



エントランスホール

柔道場

剣道場

視聴覚ホール

体育館

体育館の空調設備

CGデザイン室

映像スタジオ

プール

図書館

和室

カウンセリング室

音楽室

被服室

保健室

# CLUB ACTIVITIES

目標に向かって継続する努力は、自分を大きく成長させてくれます。  
青春を共に過ごす仲間と、放課後の自分磨きの場所がここにあります。

## 運動系



■硬式野球部■



■ワンダーフォーゲル部■



■サッカー部■



■フラダンス部■



■バスケットボール部■



■バドミントン部■



■バレーボール部■



■卓球部■



■陸上競技部■



■硬式テニス部■



■ハンドボール部■



■自転車部■



■ラグビー部■

## 文化系



■マシクラフト部■



■吹奏楽部■



■ギター部■



■ロボット部■



■茶道部■



■演劇部■



■アニメーション部■



■コンピュータ部■



■天文部■



■鉄道部■



■美術・陶芸部■



■写真部■



■eスポーツ部■